

いわて・かまいしラグビーメモリアルイベントの開催について

全体概要

(1) イベントの目的

ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催のレガシーを継承し、「ラグビー県いわて」、「ラグビーのまち釜石」の定着及び情報発信を行うとともに、ラグビーワールドカップの熱気や感動を振り返り、ラグビーの人気や魅力、価値を再認識しながら、県民・市民が“ワンチーム”となって未来への希望を紡ぐ機会とする。

加えて、東日本大震災津波から10年という節目の年であることから、国内外からいただいた復興支援への感謝と復興の姿を発信するメモリアルに相応しいイベントとする。

(2) 開催期日

令和3年11月14日(日)

(3) 開催会場

釜石鶴住居復興スタジアム

(4) イベント内容

ア いわて・かまいしラグビーメモリアルマッチ

① 対戦カード

釜石シーウェイブスRFC 対 コベルコ神戸スティーラーズ

② 入場者数

上限3,000人(スタジアム常設席6,000人の1/2)

③ 観戦チケット(入場無料・岩手県内在住者に限定)の申込方法

インターネットまたは釜石・盛岡市内の各会場で申込受付とする。

10月13日(水)～31日(日) インターネット申込期間

10月23日(土)10:00～15:00 釜石市(シープラザ釜石2Fラグビーカフェ)

10月24日(日)10:00～15:00 盛岡市(IBC岩手放送本社1F受付)

11月1日(月) 抽選

11月4日(木) 観戦チケット発送

イ いわて・かまいしラグビーファンゾーン

① ステージイベント

② 飲食ブース出店

③ 復興情報発信 等

(5) 新型コロナウイルス感染予防対策

ア イベント全体

国の通知(令和3年9月9日付け事務連絡「基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長通知)」)及び公益財団法人日本スポーツ協会のガイドライン(令和2年5月14日付け「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」)を踏まえ、以下の対策を講じて実施する。

- ① 会場全体の入場者数上限を5,000人とする。
- ② 発熱等体調不良の場合における来場見合わせの呼びかけ
- ③ 入場時の非接触型体温計での検温及び手指消毒
- ④ 会場内各所へのアルコール消毒液設置
- ⑤ マスク着用の義務付け
- ⑥ 感染予防対策の行動を呼びかける定期的な場内アナウンスの実施
- ⑦ 場内各所の巡回消毒の実施

イ メモリアルマッチ

国の通知(同上)を踏まえ、釜石鶴住居復興スタジアム収容人数6,000人の1/2となる3,000人を入場者数の上限としたうえで、以下の対策を講じて実施する。

- ① 観戦チケットによる観戦者の「氏名」「連絡先」及び観戦エリアの把握
- ② ソーシャルディスタンスを保つ配席
- ③ 観戦時における声を出しての応援や握手、ハイタッチの禁止

ウ ファンゾーン

国の通知(同上)を踏まえ、収容定員が設定されていない区域のため、十分な人と人との間隔(2m以上)を空けることができるよう考慮したうえで、会場全体の入場者数上限5,000人からスタジアム収容人数3,000人を減じた2,000人として、以下の対策を講じて実施する。

- ① 岩手県内在住者のみ入場可能
- ② ファンゾーンのみ来場者には、感染者が発生した場合に備え、入場時に「氏名」「連絡先」の記載等を義務付け
- ③ 飲食ブースの待機列や飲食スペース等でのソーシャルディスタンスの確保
- ④ 出店者のマスク、手袋着用の義務付け

エ チーム関係者(選手・スタッフ)

- ① 試合実施週のPCR検査、関係者全員の陰性証明
- ② 試合の2週間前から試合当日までの間の検温
- ③ 県内では、全て専用バスで移動